

# 北見武道通信

令和5年11月9日 00664号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

[satou.toshiharu@navy.plala.or.jp](mailto:satou.toshiharu@navy.plala.or.jp)



**ニュースレター【事務局情報】秋季柔道実技理論講習会が楽しく終了！** 9/22～10/20（毎週金曜日5回）  
「令和5年度柔道実技理論講習会」が北見市武道館「道場1・研修室」で行われました。



講習会」が北見市武道館「道場1・研修室」で行われました。北見柔道連盟と NPO 法人北見武道振興協会が事故防止と指導者の研鑽を図るため令和2年度事業から開始され『投の形』『固の形』など、講道館柔道の形を基本とする「崩し・

作り・掛け」などを修得し、<sup>たいさば</sup>体捌きや柔道の考え方である「精力善用・自他共栄」の解釈を解りやすく楽しさをおり交ぜながら行われています。最終日には『形』の審査・筆記テストも行われ無事終了20日閉講式では北見柔連武藤弘司会長から終了証が受講者に渡されました。〈佐藤〉

**「桜文鳥」男の子でした！** 以前 640号で紹介した武道館三浦スタッフが今年5



月に飼い始めた桜文鳥の「ペンちゃん」が若鳥から成鳥に育ち、性別も男の子と判明しました。オス・メスの見分け方は、成長につれて「オス」は<sup>きえず</sup>囀りが多くなり、求愛ダンスをしだすと間違いなく「オス」とのことです。三浦家のペンちゃんは最近求愛ダンスをしながら「ペンちゃんパパ～ペンちゃんパパ～」と



囀りながら、柔道を習う中学2年の<sup>まこと</sup>真ちゃん（次女）だけに近づいてきて、<sup>てのひら</sup>掌にびよんと乗るそうです。「ペンちゃんパパ～」と歌いながら求愛ダンスする動画も見せてもらいましたが、「ビチュン・ビチュン」と記者には『インベーダーゲーム』のようにしか聞こえませんが、卵から



かえったばかりの雛から育ててきた家族にとっては、人が語り掛けてくる歌声に聞こえてくるのかもしれませんが。今後の成長が楽しみです。〈佐藤〉

**事務所の花シリーズ「紅葉と武道館」**北見市東陵運動は紅葉に包まれ秋の風情が感じられます。北見市武道館の白樺も黄色く色づき冬を待つばかりとなりましたが、小春日和の一日には感謝です。〈佐藤〉

**連載 中国「老子」の思想第六章 無限の創造力** うつろなものは、無限の創造力を持つ。谷\*を見よ。谷は「母なるもの\*」である。母なるものの門、それが天地の根

元なのだ。永遠に滅びることなく、生めども生めども疲れを知らない。原文:谷神不死。是謂玄牝。玄牝之門。是謂天地根。綿綿若存、用之不勤。〈谷\*〉大地の裂け目。谷からは水が湧き、雲が起り、それによって草木が生じ、鳥獣が養われる。古代人の眼にはまことに神秘的な創造力の源泉と映ったであろう。また谷は、女性を象徴するものとして、古代生殖信仰の対象でもあった。〈母なるもの\*〉原文は「玄牝」、玄妙不可思議な雌(母)の意。七章に続く